

# 検査成績書

1/1

161018129-001-01

2016年11月11日

依頼者

株式会社ヤマシタキカク 殿

厚生労働省 登録検査機関  
一般財団法人

食品分析開発センター **SUNATEC**  
三重県四日市市赤堀新町9番5号



検体名	1) ORPウォーター酸性水
特記事項	1)

2016年10月18日 弊財団にご依頼されました検体の検査成績は以下の通りです。

## 殺菌効果試験

### [試験目的]

検体に試験菌の菌液を接種し所定条件で保存後、生菌数を測定する。

### [試験概要]

#### (1) 試験菌

*Bacillus cereus* NBRC 13494 (吐瀉菌)

#### (2) 試験菌液の調製

1/2濃度普通寒天培地で $35 \pm 1$ 、14日間培養後、得られた菌体を滅菌水に懸濁させ、 $65 \pm 1$ 、30分間加熱した後、遠心分離を行った。上清を取り除いた後、沈査に滅菌水を加え、再度懸濁させたものを遠心分離を行った。この洗浄操作を3回繰り返した後、滅菌水に懸濁させ、再度 $65 \pm 1$ 、30分間加熱した溶液を適宜希釈し、1mLあたりの生菌数が約 $10^8$ となるように調製したものを試験菌液とした。

#### (3) 試料の調製

検体30mLに対して試験菌液をそれぞれ0.3mL添加、混合したものを試料とした。

#### (4) 生菌数の測定

試料を室温で1、2、3及び5分保存後、その一部を採取し、試料の生菌数をSCDLP寒天培地を用いた混釈平板培養法( $35 \pm 1$ 、2日間培養)により測定した。

なお、あらかじめ予備試験を行い、生菌数測定に影響を与えない測定条件を確認した。また、試験菌液の生菌数を測定し、保存開始時の生菌数に換算した。

### [試験結果]

結果を表-1に示した。

以下余白

表-1 生菌数測定結果 (/mL)

試験菌	区分	開始時	1分後	2分後	3分後	5分後
セリ菌	検体1)	$1.0 \times 10^6$	$6.9 \times 10^5$	$1.0 \times 10^3$	90	<10

開始時：接種菌液の菌数を測定し、試料当たりの生菌数に換算した。

<10：本試験方法において菌の生育が確認されなかったことを意味する。